

平成19年度第1回平塚市美術館協議会会議録

開催日時	平成19年8月23日(木)14時~15時25分
開催場所	平塚市美術館 研修室
出席者	委員 山梨委員、滝波委員、田代委員、渡邊委員、村上委員、朝野委員、吉田委員 事務局 田中社会教育部長、草薙館長、鈴木副館長、小澤館長代理、 土方館長代理、端山学芸員、小池学芸員、勝山学芸員、森岩学芸員、 野村主査
傍聴者	なし

会議(次第に沿って進行)

- 1 開会 鈴木副館長
- 2 委嘱状の交付 田中社会教育部長が委嘱状を交付
- 3 社会教育部長のあいさつ
- 4 議題

(1) 正・副会長の選出について

会長が山梨委員、副会長に朝野委員に決定。(会長・副会長席に移動、それぞれがあいさつ)

(2) 平成19年度美術館事業概要について

下記の項目について事務局から説明を行った。

展覧会 - 7月までの実施状況と今後の予定

教育普及事業 - 実施状況や今後の予定

施設管理 - 利用状況、入館者数の推移、アニマルズ・プラス展アンケート結果など

(質疑応答)

・夏季の開館時間の延長について

(質疑) - 今年度の延長した時間帯(17時以降)の来館者数が少ないようだが?

(応答) - 平成17年度から実施しているが伸び悩んでいる。しかしながら本件は市民に浸透するまでの観察期にあると考えている。また、開館延長に伴う人件費及び設備の光熱水費等の兼ね合いを考え、検討していきたい。

・今年度の企画展について

(質疑) - 今年度のアニマルズ展、宮沢賢治展は子供ウケする(した)企画だが、意図して企画したのかそれとも偶然なのか。

(応答) - 偶然でもある。特にアニマルズは現代彫刻をねらいとしていたが、彫刻の愛らしさやワークシート・チラシの市立小・中学校の全児童生徒の配布が功を奏したと思う。

(委員の意見) - 市立小・中学校の全児童生徒へチラシの配布は今後も続けてほしい。また、教職員やPTAから美術館が話題にあがることが増えた。

・教育普及事業について

(質疑) - 夏休みの子供向け教育普及について、応募を多数超えて受講できない子供が多かったとのこと。受講枠など、受け入れ体制の読みはどうだったのか。

(応答) - それだけのニーズがあるとは思わず申し訳ない結果となった。部屋の使用可能な日数や予算との兼ね合いを考慮し、対処して行きたい。

・黒田清輝展について

(質疑) - 入館者数の伸びが悪いようだが?

(応答) - この暑さが影響していると思う。ただ、お盆を過ぎてから1日の入館者数が増えていること、また、特集展の斉藤典彦展がNHKでも取り上げられたので、相乗効果が期待できると思う。

(3) その他

特になく、会長が閉会を宣言

次回の協議会は20年3月の同時刻頃に予定。

以上